



基本計画



施策 0101 循環型社会の形成

■施策をとりまく環境の変化

環境への負荷低減を基本とした循環型社会の実現に向けての施策展開が求められています。また、廃棄物の不適正処理件数が増加傾向にあるなど、ごみ減量化を含めて市民との役割分担やコスト負担の適正化など、環境負荷の低減を図るために市民・事業者・行政との協働のシステムづくりが求められています。

■施策の目的

市民・事業者・行政との協働により、資源がリサイクルされ、ごみ排出量が減ることにより環境負荷の少ないまちを目指します。

■施策の目的達成度に関する指標（施策成果指標）

番号	成果指標名	現状値 〈平成14年度〉	前期目標値 〈平成20年度〉	後期目標値 〈平成25年度〉
01	家庭系ごみ、事業系ごみ及び資源物排出量	52,238t	46,521t	44,920t
02	市民1人当たりごみ排出量／日	882g	758g	716g

ごみの排出量を減らしてゆく

◆成果指標選択理由

指標 01

まちの成長（人口増）に伴う環境負荷（ごみ処理）の増減を全体量で見る指標です。

指標 02

ごみ処理による環境負荷を低減させることの達成度を市民1日1人当たりという単位で見る指標です。この数値が大きくなると、まちの成長（人口増）と環境負荷のバランスがとれていないことになります。

■施策に関するポイントとなる基本事業成果指標

基本事業成果指標名	平成14年度 （現状値）	平成20年度目標
□資源化率	15.5%	21.8%
□ごみ排出指導件数	1,027件	→

■施策を実現する手段（基本事業の構成）

010101	ごみの発生・排出の抑制
	●対象 市民・事業者
市民・事業者それぞれが、過剰包装の廃止や生ごみの堆肥化など製造・流通、消費過程での改善を行い、ごみを『つぐらない』『ださない』ことにより、ごみの発生量・排出量を減らします。	

010102	ごみ資源化の推進
	●対象 市民・事業者
市民・事業者それぞれが、分別収集やリサイクルなど積極的にごみの資源化を推進することにより、再利用・再資源化量を増やします。	

ごみの資源化をしているか

010103	適正なごみ処理の推進
	●対象 ごみ・し尿
ごみ・し尿を効率的に収集し、適正に処理・処分を行うことによって有害化学物質の発生を抑制し、安全で快適な生活環境をつくれます。	

010104	環境意識の向上と啓発
	●対象 市民・事業者
市民・事業者に対し環境意識の向上と啓発を行うことにより、正しいごみ排出の認識と減量化意識を高め、ルールに基づくごみ処理を推進します。	

施策 0102 人と地球にやさしい環境の創出

■施策をとりまく環境の変化

新たな環境汚染物質の問題やオゾン層の破壊など、都市化が進み生活様式が多様化する中で環境問題もグローバル化・複雑化してきています。環境問題への関心が高まるなか、安全で快適な地域環境を確保するため、地域からの取り組みが求められています。

■施策の目的

市民や事業者が環境負荷の少ない生活を送ることを心がけることにより、安全で快適な生活環境を目指します。

■施策の目的達成度に関する指標（施策成果指標）

番号	成果指標名	現状値 〈平成14年度〉	前期目標値 〈平成20年度〉	後期目標値 〈平成25年度〉
01	市民1人当たり 二酸化炭素 排出量	11.26 t-CO ₂ /人	10.56 t-CO ₂ /人	10.12 t-CO ₂ /人
02	公害発生件数	0件	0件	0件

※t-CO₂：二酸化炭素（換算）トン

◆成果指標選択理由

指標 01

市民一人ひとりが、環境負荷のかからない生活様式の改善をどの程度行っているか1人当たりの二酸化炭素排出量で見る指標です。

指標 02

環境汚染物質の発生を抑制し、安全で快適な生活環境が作られているかを、公害発生件数で見る指標です。

■施策に関するポイントとなる基本事業成果指標

基本事業成果指標名	平成14年度 (現状値)	平成20年度目標
□地球にやさしい生活をしている市民割合	78.6%	↗
□排出規制基準値超過事業所数 (ばい煙・水質・ダイオキシン類)	0件	0件

■施策を実現する手段（基本事業の構成）

010201	地球環境保全への取組
	対象 市民・事業者
	大量生産・大量消費・大量廃棄型の生産活動や生活様式から環境負荷の少ない環境重視型生活・活動を行うことによって、地球にやさしい生活を送ります。

010202	安全な地域環境の保全
	対象 市民・事業者
	行政が化学物質などの新たな環境問題に対応するとともに、市民・事業者へ情報を提供することにより、産業公害や都市・生活公害の発生を未然に防ぎ、安全で快適な地域環境を守ります。

010203	環境教育・学習の推進
	対象 市民・事業者
	市民・事業者それぞれが環境に対する責任を自覚し、環境保全のための取り組みの意欲と能力を高めます。

施策 0103 水とみどりの保全と創出活用

■施策をとりまく環境の変化

心のゆとりや豊かさが求められているなか、身近なみどりと自然とのふれあいが重要と感じる人が増えています。また、江別の自然財産を活かし、水とみどりの保全と創出に配慮したまちづくりを推進することが求められています。

■施策の目的

市民・事業者・行政との協働により水とみどりが豊かで、快適なまちを目指します。

■施策の目的達成度に関する指標（施策成果指標）

番号	成果指標名	現状値 〈平成14年度〉	前期目標値 〈平成20年度〉	後期目標値 〈平成25年度〉
01	緑被率	86.0%	86.0%	86.0%
02	みどりに親しめる空間があると思う市民割合	80.5%	→	→
03	水に親しめる空間があると思う市民割合	56.3%	→	→

◆成果指標選択理由

指標 01

江別市内のみどりの豊かさを、市全域の面積に対して樹木や草で被われた部分を占める割合から知る指標です。

指標 02

市民意識調査により身近にみどりを感じ、触れ合う場所があると感じる市民の割合です。

指標 03

市民意識調査により水に親しめる空間があると感じる市民の割合です。市の豊かな水辺空間が生活に活かされているかを見る指標です。

■施策に関するポイントとなる基本事業成果指標

基本事業成果指標名	平成14年度 (現状値)	平成20年度目標
□地域制緑地 (緑地保全地区等) 面積	5,240ha	5,240ha

■施策を実現する手段（基本事業の構成）

010301	水とみどりの保全
	対象 自然環境・市民・事業者
市民と事業者、行政が協働して地域の水とみどりを守り、身近な自然環境や水辺環境を守ります。	

010302	みどりの創出
	対象 自然環境・市民・事業者
市民・事業者それぞれが、木を植えるなどみどりを育てることにより、うるおいのある緑豊かなまちづくりを目指します。	

010303	水とみどりの活用
	対象 自然環境・市民・事業者
行政が水辺と親しむ空間の創出や緑化を推進することにより、市民に対して水やみどりを感じ、ふれ合える場所を提供します。	